

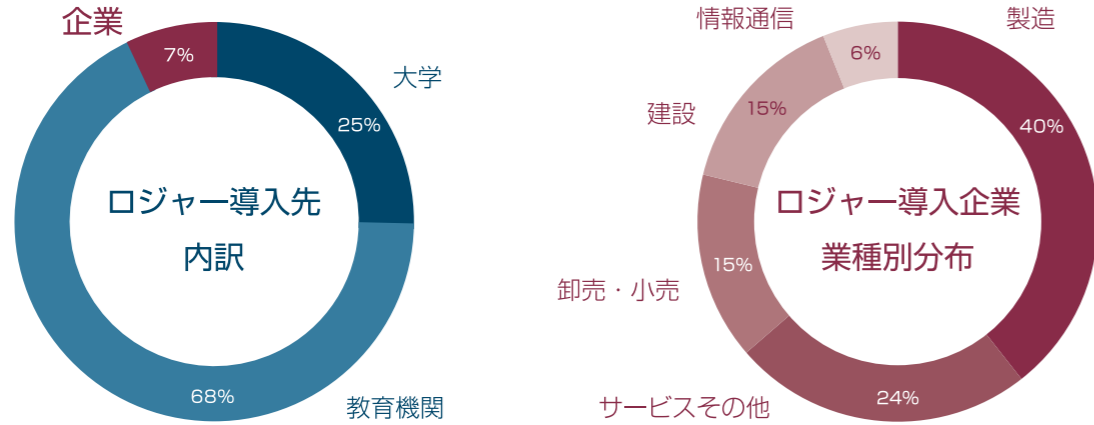
ロジャー導入実績

2013年にロジャーが誕生してから、
これまでに日本国内の企業・学校などで473団体*が、
ロジャーを導入しています。

*2019年6月現在

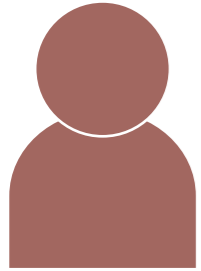
473
団体

導入先



導入企業：全日本空輸 株式会社 / ヤマハ発動機 株式会社 / 株式会社 資生堂 (導入順)、その他国内 30 企業以上

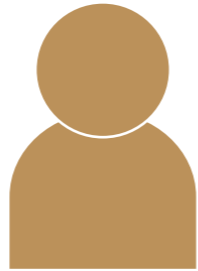
導入企業様からのお声



採用担当者 H様

聴覚障がいを持つ社員が働きやすい職場づくりを目指すことが、障がいのあるなしに関わらずすべての社員にとって働きやすい環境につながると感じています。補聴援助の機器を設備として整えることで、活躍機会の拡大と職場定着の一助になっていると感じています。

ロジャーのような補助機器を活用することでより齟齬のないコミュニケーションを図ることができ、チームで働く今の環境において自分の力をさらに発揮できていると感じています。また、会議や打ち合わせといった業務の幅が広がることでより一層自分自身の成長を感じることができました。



ユーザー M様

ロジャーについて、お気軽にお問い合わせください。

製造販売業：ソノヴァ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル
お客様相談窓口 TEL:0120-04-4079 (受付時間：月～金 9:00～17:30 土日祝休み)

🔍 フォナック ロジャー



職場での聞こえの環境づくり

補聴援助システム「ロジャー」のご紹介



A Sonova brand

働くすべての人に、よりよい聞こえの環境を。

2016年4月に施行された「障害者差別解消法」(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)により、社会のさまざまな場所で「合理的配慮」が求められています。

職場での音環境の改善を目的として、補聴援助システム「ロジャー」がいま、企業で導入されています。



ロジャーとは



ロジャーは話し手が使用する「送信機(ワイヤレスマイクロホン)」と、聞き手が使用する「受信機」、会議室などに置く「線音源スピーカー」で構成されるシステムです。

ワイヤレスマイクで拾った音声をデジタル無線方式で送信するので、補聴器や人工内耳だけでは言葉の聞き取りが難しい環境でも、よりクリアな「聞こえ」が可能になります。



新製品

会議専用ロジャー送信機

ロジャー テーブルマイク II

ロジャー テーブルマイク IIは、会議参加者の音声を自動的に選別し、雑音を減らしながらワイヤレスで音声を補聴器 / 人工内耳に届けます。難聴を持つ就労者の多くが、会議や打ち合わせでの聞こえに困っています。ロジャー テーブルマイク IIは、その課題に応えます。



ロジャー テーブルマイク II
158,000円(税別)

特徴

- 本体のボタンは2つだけです。電源ボタンを入れて、補聴器 / 人工内耳に近づけて接続ボタンを押せば使用可能になります。
- 大きな騒音下での言葉の理解を61%まで改善。6方向の複数マイクが360°全方向の言葉の明瞭度を向上させます。
- コンパクトな設計で会議室の移動も簡単です。
- 電池交換不要の充電式なので、電源が無い場所でも最大16時間の連続使用が可能です。

ご利用いただく メリット

- 【難聴を持つ就労者のメリット】会議や打ち合わせに参加できるようになり、コミュニケーションを通じて自信が生まれます。
- 【企業側のメリット】従業員の戦力UPになり参画意識も高まるので、より良い人材確保につながります。

複数台での接続使用が可能なので、小人数の打ち合わせから大人数での会議まで幅広く対応します。



フォナックホームページでロジャーテーブルマイク IIの聞こえをお試しいただけます。



ロジャー テーブルマイク II ビジネス利用イメージをYouTubeでご覧いただけます。